

市政ニュース News



中学生が思いを披露

7月4日に総合福祉会館で少年の主張前橋大会が開催されました。市内各校を代表する中学生が日ごろの思いや考えを発表。若い感性でつづられた主張に、会場からは多くの拍手が送られました。

豚に関する施設などを巡る「T O N T O Nのまち前橋探訪」が6月29日に行われました。養豚農家や食肉卸売市場の見学、手作りソーセージ教室など盛りだくさん。まえばし t o n t o n 汁も振る舞われ、豚への関心を深めた1日でした。



寛仁親王殿下をお迎えして

6月30日から7月3日まで、グリーンドーム前橋で特別競輪「寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント」が開かれました。トップ選手が一堂に会しスピードと技を競うG1レース。小島敬二選手が激戦を制し、寛仁親王殿下から賜杯が手渡されました。



あちこちで大きな歓声

7月1日に上細井町の市民プールがオープンしました。この日は強い日差しが照り付け、絶好のプール日和。子どもたちや親子連れなど766人が来場しました。9月2日(日)まで楽しめます。



本市名産の豚を探訪

先生の指導で彫刻の大作を



県最優秀賞で全国へ出展
小川 拓耶さん・17歳
大胡町

昨年行われた第30回群馬県高校芸術祭美術部門で600点以上の応募作品の中から最高の賞に選ばれ、今年29日から島根県で行われる全国高等学校総合文化祭の県代表の座をつかんだ。

「先生から受賞を聞き、本当にうれしかった。自分の目で確かめたい、展示会場までこっそりと見に行きました」

受賞作品は自分をモデルに彫刻で表現した「自刻像」。作品は現在通学する市立前橋高に展示してある。

「全国への出展作品では、同じ彫刻でも子どもを表現しなかった。一番近い存在の弟と家で飼っている猫をいろいろな角度から写真に撮り、それをもとに猫を抱いている弟をイメージして作りました」

県代表として恥ずかしいという、また、納得できる作品をと、先生の指導を受けながら2カ月かけ、高さ70cm、重さ40kgの大作が完成。この作品は一足早く総合文化祭会場へと出発した。

「先生と一緒にいきます。全国から優秀な作品が集まるので楽しみです。自分のレベルも分かるし、同年代との交流もでき、友達がきたらうれしいです。だから、今から待ち遠しいです」

この若き芸術家は美術部の部長。部員16人の中心的存在だ。11月に行われる高校芸術祭に向けて、その準備にも忙しい。高校生活も残りわずか。最後の夏休みを楽しく過ごし、一歩一歩自分の夢に向かって進んでほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作
わたしならできる。

桃川小4年
石田 真子さん

★佳作
「せみ」

中之条町立中之条小4年
鵜田 芽衣さん

高とびの時間がきて
わたしは90センチメートルがとべ
なかった。

とべる人は2、3人。
しかも身長が高い人。
わたしにとべるわけない。
わたしになんか、できないや。

高とびの時間がきて
あの子がとべた。
あの子がとべるならわたしもとべ
る。

とうとうわたしの番が来た。
わたしならできる。
おもいっきり足をふみきって
おもいっきり足をふみきって
「えい」
わたしはとべた。
そして、はく手の花畑にいた。

ミンミンミンせみが鳴いている。
木にとまって大きな声で鳴いてい
る。

一生けん命鳴いて生き物のねじを
まいている。
ふと部屋を見ると、かべにせみが
止まっている。
「うるさいなあ。」
僕が言う。

「二生けん命人のねじをまいてる
んだよ。外を見てなよ。」
せみが言う。

外を見れば、みんな、人がねじを
回して歩いている。
ほんとうだ：せみを見るともうそ
こにはいなかった。
人ももうもどっている。
自分にもねじがないかな、とせな
かをさわるけれど、ねじはない。
「ああ、よかった。」
僕はほっとした。
せみはまだミンミンジージー鳴い
ている。